

問 飛騨市総合政策指針について

答 元気、あんな、誇りの持てる飛騨市の柱を示し、具体的な事業は毎年度組み立てる



洞口 和彦 議員

少子高齢化、人口減少

の進むなか、飛騨市の将来のありたい姿と進むべき方向を示す総合政策指針。今後の取組、市長の関わり方、内容について問う。

- (1) 実施までの過程と市長の関わりは。
- (2) 基本的な考えは。
- (3) 指針の骨子は。

問 消費税の改正について

答 商工団体により制度の周知。ポイント還元加盟店は92店舗登録。前回増税のような反動減なし

景気後退が進むなか、

- 10%増税による、地域経済の影響が心配です。また複雑な軽減税率やポイント還元導入等わかりにくい点や準備の遅れがある。改正の影響を問う。
- (1) 体制の準備は万全か。

① 課題解決の道筋

- ② 具体的なアクション
- ③ サービス水準の担保
- ④ 創生総合戦略との関係
- ⑤ 将来的な予算経費

◆ 都竹市長

- (1) 指針は総合政策審議会、議会、パブリックコメントを経て、3月に確定・公表し、その後は市長を筆頭とする市組織全体で関わっていく。
- (2) 具体の事例を列挙して着々と実行する従来型の計画ではなく、元気、あんな、誇りを柱に、人口減

率対応レジの利用は把握していない。ポイント還元制度加盟店は92店舗。③低所得者対象者には郵送案内、3歳未満子ども世帯には市広報、雑誌、町内回覧で周知。(2) 前回増税時のような大幅な反動減はないと推測。地方消費税交付金は増収1億1千3百万円で総額5億8千万円。

- ① 複雑な軽減税率
- ② ポイント還元制度
- ③ プレミアム付き商品券
- ④ 飛騨市における影響は。

◆ 清水商工観光部長

◆ 泉原総務部長

- (1) ①②市内の商工団体により周知・啓発。軽減

少を正面から受け止め、未知の課題に臨機応変に対応するという姿勢で策定。

(3) ① チャレンジ姿勢と

現場主義に徹し、微小な暮らしの動きを政策に反映。② 具体の事業は毎年度組み立て、大きな事業はプロジェクトとして示す。③ コストバランスを考えざるを得ないが、利便性、満足度を向上させる。④ 国の動きをチェックして、漏れのないように指針を関連付ける。⑤ 補助金や有利な起債の活用、経費の削減などに取り組み、予算規模は160億円台を見込む。

常任委員会 Q&A

◆ 議案第83号

飛騨市税条例の一部改正定
地方税法の改正に伴う改正

Q 個人市民税関係の中で単身児童扶養者のうち事実上婚姻関係の定義は。

A 税法上では税の優遇を受けている未婚の父母、結婚同等の生活をしている者を指す。

◆ 議案第84号

飛騨市会計年度任用職員の給与等及び費用弁償に関する条例制定
会計年度任用職員制度施行に伴い制定する

Q 会計年度任用職員に適用する給料に幅があるが、その内容は。

A 第3条で上限額が定められているが採用者によって違う。給与表が6種類あり職種に合わせて幅を持たせて対応する。

Q どの程度支出が増えるのか。

A 負担金も含め、一般職で年間60万円。

◆ 議案第85号

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の改正

Q 育児休暇や産前産後休暇はどうなるのか。

A 育児休暇はあるが、産前産後休暇については有給と無給がある。

◆ 議案第86号

消費税率の引き上げに伴う
関係条例の改正

※議会より計算誤りを正す修正動議を提出
改正される料金を全て再計算し違いないか確認

- 4項目において誤りがあった
- うち2項目については前回(平成26年)の増税の際に改正もれ、今回、合わせて値上げとなっている
- 1項目は、10円未満の端数処理(5円の切り捨て)ができていない
- 1項目は、議案に記載するときに転記ミスをした



以上のことから、休憩時間を2時間以上取り、議案86号と議案87号について各担当課で点検することになった。その結果を踏まえ、86号と87号についてこれ以上の間違いはないと確認さ

れたことを受け、委員会では86号について修正動議を提出することとなり、修正可決した。

Q 今回の改定額算出の計算方法は。

A 平成26年の増税時に端数を切り捨てたこともあり、現在の金額を合併時のもとの使用料に戻し、1.1を乗じて計算し10円未満は切り捨てた。

Q 文化交流センター使用料で「5450」を「5500」に改めるとあるが、これでのいか。

A 計算間違いであり「5550」に訂正を願いたい。

◆ 議案第87号
飛騨市使用料徴収条例の一部改正

各種施設の使用料金改定を行う（上程議案に過誤があったため訂正請求の提出があった）
委員会審査で再点検を行い、その報告をもとに可決すべきものとして決定

その後、1項目が記載されていない事を担当課が見つける

再度、各担当で点検した結果40項目に及ぶミスが発見され議会に報告

議会最終日に市長から議案の訂正が提出され、再度委員会にて審査
← 訂正議案について可決すべきものとして決定

Q 高原郷土館や江馬館の入館料の見直しは。

A 施設のあり方を見直し検討する。



史跡 江馬氏館跡公園

Q 条例案の最終チェック体制は。

A 公文書研究会で行うが条文の審議が中心で、各課から提出された金額の確認に漏れがあった。

◆ 議案第90号
飛騨市印鑑条例の一部改正

住民基本台帳法施行令の一部改正により住民票の記載事項に旧氏を加えられることに伴う改正

Q 旧氏の表記は選択制か、また旧氏を加えることで何が違うのか。

A 任意の登録制、表記する事により旧氏での印鑑証明が登録可能となる。

◆ 議案第91号
老健たかはらの指定管理

Q 指定管理への移行準備は万全か。

A 職員の個別面談を終了。順調に進めている。

◆ 議案第92号
飛騨市水道事業給水条例の一部改正

Q 市民への大きい影響は、税制改正で料金が2%アップすることか。

A そのとおりです。

◆ 議案第96号
飛騨農業共済事務組合規約の変更

農業共済事務組合が解散した場合の事務の継承団体を規約に明記する

Q 継承団体は高山市だが、決算承認後はどうなるのか。

また、職員の派遣はどうなるのか。

A 決算の審査、認定を行い、結果は各構成市村へ書面で報告がある。飛騨市、高山市、下呂市から各2名を派遣しているが今後はない。

◆ 議案第97号
飛騨農業共済事務組合の解散
令和2年4月に県下全域を対象に農業共済組合が設立され飛騨農業共済組合を解散する

Q 新しい組合の職員体制は。

A 県内の組合の総職員数は143名。新しい組合は130名の予定。国の補助金が年々減少し運営が厳しくなっていることもあり、5年間で24名減らす計画。

◆ 議案第98号
飛騨農業共済事務組合の財産処分
事務組合解散後、財産を岐阜県農業共済組合に帰属

Q 現在の事務所は、どうなるのか。

A 飛騨農業共済事務組合の建物は、飛騨支所としてそのまま使う。

◆ 議案第100号
特別職職員の給与に関する条例の一部改正
議案86号は、委員からの修正案の提出。
議案87号では、改正後の使用料に誤り（上程した議案内容の誤り）により訂正案の提出があった。
この市政における事務の信頼を損なう事態を招いたことに対する管理責任を明らかにするため、市長、副市長の給料10月分について1割減額する

Q 減給額はどのように決めたか。

A 社会通念上判断し、適度な量定として決定。

『除斥（じよせき）とは？』

議会における審議を公正なものとするため、議題となった案件と一定の利害関係にある議員を、その議事審議に参加できないようにすることです。

これまでに飛騨市議会でも、除斥となった案件はありません。



委員会 Q&A

予算・決算特別委員会に付託された案件の審査内容の一部をQ&Aにて掲載します。

9月補正予算 Q&A

総務部

Q 地域防犯灯設置補助はいつまでか。

A 行政区単位へ補助し、今後も続ける。

Q 倒木による停電対応は。

A ライフライン整備事業で対応を進めている。

企画部

Q ふるさと納税について。

A 6月から新たな制度となったが、前年度より寄附額は大きく伸びている。今年度、企業版ふるさと納税は募集していない。

Q ドローンプロジェクトの現状と今後は。

A 委託予定が直営に変わったが、ドローンパークは適切に運営できている。



流葉ドローンパーク

教育委員会

Q パソコン8台購入は当初予算で計上できなかったのか。

A 10月からのシステム更新に際し、教員用パソコンのスペック不足が判明。対応が必要となった。

環境水道部

Q 消費税値上げは10月検針からとなるのか。

A 12月請求分からの値上げとなる。

農林部

Q 豚コレラが大騒ぎになっている。市は車両の消毒など

対策をとっているのか。

A 市内で野生イノシシから豚コレラの陽性反応が8例あり、経口ワクチン散布を行い、調査・有害捕獲個体の血液検査を行っている。

商工観光部

Q まつり会館の入館料収入の試算1350万円は多いのでは。

A 平成29・30年度の実績を勘案し試算した。

Q まつり会館が赤字になれば補填するのか。

A 指定管理料591万円で公募するので、その額で行える前提であり赤字補填は行わない。

決算特別委員会 Q&A

総務部

Q 空き家調査後の3棟の取り扱いは。

A 2棟については特定空き家に認定した。

Q 電気自動車購入の効果は。

A 避難所の停電時に電源として活用できる。今後、企業や市民が所有する自動車の提供協力を願う。



電気自動車から電源供給

企画部・各振興事務所

Q 振興事務所は、現行予算で住民要望は叶えられているのか。

A 大きな事業以外は対応している。

Q 薬草ビレッジ構想推進プロジェクトの現状と今後は。

A 古川町式之町に開く店舗で薬草を使用した商品を50種程販売する予定。現状では商品作りまでは考えていない。

市民福祉部

Q 特養たんぽぽ苑の外国人介護人材確保の現状は。

A 一昨年より確保に取り組

まれており市でも支援している。今年度に入り技能実習制度によりベトナムより3名の受け入れが確定し、順次現場に入る予定。

Q いきいき健康増進事業の温泉施設利用が減ってきた理由は。

A 温泉施設利用ではなく、他での利用が増え、利用先が変わってきた。

Q 割石温泉の老朽化の対応は。

A 内装など安価に行える改修を考えている。



老人福祉センター「割石温泉」

Q キャッシュレス支払について市の考えは。

A 多様な支払方法を個人が選択できるように整えていく。



山城の調査（礎石）

教育委員会

- Q** 関東地区にある岐阜県学生寮のPRは行っているか。
A 把握しておらず行っていない。周知する。
- Q** スポーツ整備計画で、屋内運動場検討はされているか。
A 有識者8名による検討を10月から始める。
- Q** 教員住宅で使用していない所はあるか。
A 宮川町で2戸ある。
- Q** 外国人労働者へ貸出しできないか。
A 設置条例で教員と限定している。宮川では災害時、教員の宿舎として使用する。
- Q** 山城調査の成果は。
A 古川城は礎石、小島城では石垣が発見された。

図書館の閉館時間について

- Q** 図書館の閉館時間について。
A 昨年9月以降、人員不足により短縮した。現在は20時に戻っている。午後19時以降の利用は少ないが、利用者の声を聞いて閉館時間を検討したい。

- Q** 神岡地区の給食費が安値で食材提供に支障が出始めている。値上げの計画はあるか。
A 他校と比べると安い。食材費の比較検討を行いながら進めたい。

農林部

- Q** クアオルトの新規指導者6名は市民か。
A 新規指導者全員が市民です。全体では10名で、古川7名、神岡3名。
- Q** 月2回開催で126名参加。コース別の人数は。
A 朝霧の森が29名、森林公園が31名。団体予約が朝霧の森で66名。
- Q** サギによる魚への被害が多いが対策は。
A 被害把握をしていない。未対応である。
- Q** 姉妹森提携、中川町との連携のメリットは。



市営団地 昭和団地(神岡町)

- Q** 両者の長所を共有し、短所は補う。

- Q** 危険木の除去は地元要望か。市の判断か。
A 地域から要望のあったところを実施。

- Q** 香愛ローズガーデンの直営化の理由は。
A 指定管理料550万円と直営でどちらが安いかが基本。バラの管理のみ委託する形の直営が有利と判断した。

基盤整備部

- Q** 国道などの歩道にゴミや枯れ草が多く汚れているが対応は。
A 国道事務所へ要望するが、市としても住民と一緒に対応したい。

- Q** 道の白線や黄線の引き直しは。

- A** 優先順位を決めて危険な箇所から実施。

- Q** 市営住宅の建設の考えは。
A 新築ということは考えていない。改修しながら長く維持したい。

商工観光部

- Q** 外国人技能実習生は何社で何人みえるのか。
A 14の事業所に54人の外国人が働いている。
- Q** 観光客滞在時間や宿泊数は減っているのか。
A 宿泊数としては上がっているが、宿泊費の価格競争で

- 単価が下がっている。

- Q** 攻めの観光戦略が必要だと思うがどうか。
A 重要と認識している。データも揃ってきているので今後進めていきたい。

- Q** 観光施設の修繕箇所が増えているが、全体的な協議が必要ではないか。
A 大切なことであり検討する。

- Q** 閉店する店が増えている。何か対策は。
A 経営者の苦渋の決断であり対策は難しい。市民生活に支障をきたすようであれば、必要に応じて行政で対策が必要と考える。

インターネット映像配信「You Tube」について

飛騨市では、議会定例会一般質問をインターネット映像配信しています。(映像配信期間は、会議録を議会ホームページにアップするまでの間です。)

現在、一般質問の映像配信は、議員ごとに編集して配信していますが、次回12月定例会からは、議員ごとの編集は行わず、午前一般質問、午後一般質問として配信を行うこととします。(おおむね午前は2人。午後は3人となります。) よろしくお願いたします。

